ISS/JEM

利用運用

# 宇宙業界におけるアミルの役割紹介



深宇宙探査

(国際協力・ISSを継承 2023年:初期モジュール打上 居住棟へ技術機器提供(バッテリー、環境制御、生命維持))

物資補給船 (HTV-X&H3ロケット 2021年ISS補給&技術実証 実運用2026年以降)

# 火星衛星探査計画 (MMX) (2024年9月打上~2025年8月着)

**JAMSS** 

# ハヤブサⅡ

NEC



トヨタ

# ロケット

三菱重工業、IHI、IHI-A、NEC、三菱 大型 プレシジョン、日本航空電子工業、 川崎重工業、明星電気

> スペースワン、キヤノン電子、IHIエア ロスペース、清水建設、日本政策投 資銀行、インターステラテクノロジズ

射場 システムと 打上管制

小型

三菱重工業

# ISS「きぼう」 システム運用管制&訓練

1	実験利用管制	JAMSS
	国際間調整	JAMSS, AMIL
	宇宙飛行士支援(健康、搭乗、家族、食事…)	JAMSS, AMIL
	システム側機器ソフト開発	MHI、IHI-A、富士通、NEC
	実験側機器開発	MHI、IHI-A、IHI、IIC、千代田化工…
	ユーザー支援	実験支援:宇宙フォーラム 小型衛星放出:AMIL、スペースBD コマーシャル利用:宇宙フォーラム、AMIL・
	安全保障	安全訓練、実験訓練、利用訓練: JAMSS、AMIL、 部品認定、安全性実証試験、機器容査評価。

### HTV-X

要求取りまとめ JAMSS&AMIL 設計~概念~基本~詳細~ 製造・検査~打上(H3ロケット) 開発~実用 運用計画、運用訓練、実運用 三菱電機、MHI、 射場対応 (物資搭載、カーゴインテグレーション、 ユーザー対応…)

# 地上局・システム

### 運用管制業務

製造メーカとJAMSS(一部)

追跡管制運用システム、 ネットワーク伝送、 データ提供利用システム NEC、富士通

## 各種試験設備の運用

スペースチャンバー、 電波・振動試験

# ISSの民間利用

IHI-A

宇宙ホテル(有償利用)	米国企業
宇宙旅行	PDエアロスペース

# スペースデブリ除去

アストロスケール、川崎重工業

## 人工衛星

	大型	三菱電機、三菱プレシジョン、 NEC、NECスペーステクノロジー
	小型	キヤノン電子、アクセルスペース
	部品・コンポーネント	IHI-A(スラスター)、多摩川精機(角度センサー)、 日本飛行機工業(ハニカム)、日本航空電子工業、 GSユアサ、NEC、海外メーカ40%
	QML 認定	富士電機(半導体)、福井打田(コンデンサ)、 双信電機(コンデンサ)、セイデンテクノ(航空)、 北陸電気工業(航空)、カネカ(太陽電池)、 シャーブ(太陽電池)、潤工社(ハーネス)、明星電気(センサ)
	インフラ (観測衛星、測位衛星、通信衛星)	*
•	衛星利用・データ利用サービス・運用管制業務 (画像・通信・放送、・位置情報、地球観測、解析サービス、 気象・防衛、安全保障、・農林漁業、防災、経済活動、株価予想、 資源探査(石油・ガス・レアメタル)) →自動運転、IOT、AI、ビッグデータ解析、ソフト開発に活用	アイスペース (資源探査) 、 アストロスケール、ALE、 QPS研究所、スペースシフト JAMSS (一部) など
۰	認証業務(試験~評価、データ管理、ユーザー提供)	各メーカーにて実施しJAXAにて認証

分野別 色分け

宇宙飛行士

月面基地

相互連携

(2020年中頃Gateway滞在、2020年後半~月面へ)

ARTEMIS計画(月探査・着陸)

GATEWAY(月軌道ステーション)

月面着陸船 (Blue Origin、SpaceX 2024年)

月面有人与圧探査車(ルナクルーザー)



製造・インフラ

深宇宙探査

地心軌道 の高度

月の周回軌道(高度380,000km)

静止軌道(高度36,000km) 低軌道 (高度2,000km)

\_ \_ \_ 準軌道(高度100km)

★ … 今後目指すべき取組